

名鉄病院

黄熱予防接種実施手引き

名古屋鉄道健康保険組合

初版 2024 年 1 月 31 日

名鉄病院 黄熱予防接種実施の手引き

- 別紙 1 : 接種不適合者と接種注意者
- 別紙 2 : 予防接種又は予防薬の国際証明書 (ICVP) 様式
- 別紙 3 : 黄熱予防接種について (受診者へ配布するチラシ)
- 別紙 4 : 予診票 (外来受診時)
- 別紙 5 : 予防接種禁忌証明書様式
- 別紙 6 : 副反応疑い発生報告 様式 (PMDA)
- 別紙 7 : 黄熱予防接種実施及び副反応報告書
- 別紙 8 : 名鉄病院予防接種センター接種証明印取扱要領

- 参考 1 : 黄熱ワクチンウェブ予約概要について
- 参考 2 : 黄熱ワクチン予約について (名鉄病院ホームページ)
- 参考 3 : 黄熱ワクチン Web 問診

- 別添 1 : 名鉄病院院内感染防止対策マニュアル
- 別添 2 : アナフィラキシーの初期対応アルゴリズム

はじめに

本手引きは、名鉄病院において「黄熱ワクチン1人用」を用いた黄熱予防接種業務を安全かつ適切に実施することを目的とする。

I 予防接種の実施概要と実施体制

1. 接 種 機 関 : 名鉄病院 予防接種センター

2. 接種日及び時間

(1) 接 種 日 : 毎週水曜日(祝日と特定日を除く)

(2) 接種時間 : 13:30~15:30 30分ごとの時間枠での事前予約

(3) 予約受付人数: 20人

(4) 予 約 方 法 : 原則として病院ホームページからの予約受付のみとする。

(5) 広 報 : 名鉄病院ウェブサイトに掲載する。検疫所ウェブサイトへの掲載協力を求める。

3. 取扱いワクチンの種類と料金 (消費税10%)

黄熱ワクチン1人用接種料 18,182円(税別) 20,000円(税込)

証明書料 3,000円(税別) 3,300円(税込)

接種料、証明書料合計 21,182円(税別) 23,300円(税込)

禁忌証明書料 3,000円(税別) 3,300円(税込)

4. 予防接種日の担当者 (状況により増減する)

(1) 医師 1~2名

(2) 看護師 1~2名

(3) 事務員 4名

II 予約受付

1. 予約はホームページからのみ受け付ける。予約システムは、予約受付システムとWeb問診システムから成る。(参考1)

2. 受付期間は原則として接種日の21日前午前0時から前週の金曜までである。

3. 名鉄病院ホームページの黄熱予約ページ(参考2、現行バージョン)から予約ページに入る。

4. 予約システムでは、パスポートのスペルでの氏名(英)、性別、生年月日などを入力して予約を行う。既定の人数で予約を終了する。

Web問診ホームページからは、禁忌事項などを問診する。ウェブで判断がつかない場合には、電話やメールで確認し、接種できない場合にはその旨を伝える。

III 準備、接種当日の流れ

1. 準備

「予防接種又は予防薬の国際証明書」(通称「イエローカード」、以下、「ICVP」という。別紙2)を予約情報に基づき作成する。ICVPは所定の様式(検疫法施行規則様式第六の一に準拠)を使用する。

予約時に入力された氏名、生年月日、性別、国籍を印字する。

ワクチン名、接種年月日、接種監督医師の所属、ワクチン製造所名、製造番号、有効期間を印字す

る。

2. 受付から接種、会計までの流れ

接種希望者（以下本人）は、総合受付で受け付け後、予防接種センターで受け付けを行う。

受付では、注意書き（別紙3）、予診票（別紙4）、事前に準備したICVPを本人に渡す。

本人は、予診票に必要事項と測定した体温を記入し、ICVP記載内容を確認し、署名をして、受付に提出する。

受付は、予診票内容を確認した上、カルテとICVPを待ち患者カルテ置きに置く。

診察室で、看護師はカルテ順に呼び込み、黄熱ワクチンを溶解し用意する。黄熱ワクチンは溶解後60分以内に使用する。

医師は予診票を確認し接種を行う。また、パスポート等で本人確認を行い、ICVPに医師が署名し、本人署名欄を確認する。

受付は、カルテを受け取り、ICVP記載内容を再度確認後、交付する。明細書と外来精算案内書を渡し、会計を案内する。

本人は自動精算機に外来精算案内書のバーコードをかざし、支払いを行う。支払いが完了すると領収書が発行される。

3. 平時の準備

（1）看護師はワクチン在庫数、緊急カート等必要機材の定数を確認し記録する。また、冷蔵庫の温度を確認し、庫内温度が黄熱ワクチン管理適正温度（2～8℃）から逸脱していないか確認する。温度が逸脱していることを発見した場合、発見時間、逸脱期間、黄熱ワクチンの状態等を確認した上で医師に報告し、指示を仰ぐ。

（2）薬剤部は、ワクチンを発注する。ワクチンの有効期限を確認する。

4. 接種の注意事項

（1）黄熱ワクチンの溶解の際には、添付の溶解液（生理食塩水）を静かに注入し、静かに振り混ぜ（※激しく振らない）溶解する。60分以内に使用する。

（2）医師は、シリンジに破損、汚損、変色、異物混入等がないことを確認した上で被接種者に接種する。

（3）接種直後のアナフィラキシーショック等有害事象発生時に対応するため、原則として接種後15分程度院内に滞在するよう説明する。なおアレルギー歴のある人は30分待合室に滞在するよう求める。

5. 関係書類の保管

（1）診察内容はカルテ（紙カルテ）に記載する。接種記録は「予防接種ノート」（Excel）に入力し、「予防接種台帳データベース」（Access）に登録する。紙カルテは5年以上保存する。予防接種台帳データベースは、再交付に対応するため10年以上保存する。

（2）予診票、同意書は1年間保存する。

（3）副反応は電子カルテに記録する。（電子カルテは5年保存）

（3）禁忌事項に該当する場合はカルテに禁忌理由を記載し、予防接種禁忌証明書（別紙5）を作成し、そのコピーを紙カルテに貼付する。（紙カルテは10年間保存）

6. 黄熱ワクチンの保管と管理

1. 黄熱ワクチンの発注、保管、使用

（1）予防接種センターは薬剤部に黄熱ワクチンを発注依頼し、薬剤部はアルフレッサに発注する。アルフレッサはサノフィに発注し10日程度で薬剤部に納品する。

薬剤部は納品時に輸送時の温度管理の状態、破損状況、数量、ロット番号、有効期限を確認し、薬剤部の薬品保管庫（冷蔵庫 2℃～8℃）へ保管し、管理台帳に記録する。

（２）予防接種センターは必要量を薬剤部から保冷バッグで受け取り、外来冷蔵庫に一時保管し使用する。

（３）外来冷蔵庫の温度管理

温度監視装置「おんどとり」で庫内温度を常時監視し、ウェブサーバーに自動記録する。

温度逸脱は冷蔵庫本体のアラームと、温度表示タブレットのアラームが知らせる。

毎朝看護師が温度を確認し「温度記録簿」に記録する。温度記録は２年間保管とする。庫内温度の上昇を確認した場合は医師に報告する。医師は逸脱の時間と温度を確認し、メーカーに助言を求め、廃棄するかどうかを決定する。廃棄の場合は病院総務課へ報告するとともに冷蔵庫の修理、薬剤の購入、予約の調整を指示する。

２．黄熱ワクチンの管理

（１）黄熱ワクチンは、容器に記載されている有効期限が短いものから使用する。

（２）看護師は、在庫数を予防接種実施日に必ず確認する。

（３）事務員が、黄熱ワクチン使用実績簿を記入する。

（４）薬剤部が黄熱ワクチンの発注と在庫管理を行う。

３．感染性医療廃棄物

感染ボックスに廃棄し、専門業者に処理を委託する。

４．予防接種後の注射針等により針刺事故を起こした場合「院内感染防止対策マニュアルX針刺し・切創事故・血液・体液汚染事故の対応」を参照する。

５．ICVP 再交付

ICVP の再交付は、窓口で、氏名、氏名英語、生年月日、性別、国籍を確認し、予防接種ノートまたは予防接種台帳システムで接種歴を確認し、作成する。医師が署名し公印を押し、交付する。料金は証明書料（3,000 円＋税）とする。来院が困難な場合には電話で申し込み、必要項目をメールまたは FAX で受け、ICVP を作成し、請求書と支払い用振込用紙と共に郵送する。（顔写真による厳密な本人確認は不要）

ICVP 再発行したことを紙カルテに記載する。

６．予防接種禁忌証明

黄熱ワクチン接種を要求する国へ渡航する者が、予防接種禁忌証明書の交付を希望する場合、基本的には本人の主治医へ依頼し記載してもらう。予防接種禁忌証明書の交付希望者や、その主治医より書式の問い合わせがあった場合には、既定の様式はないことを伝え、例として米国 CDC のサイトを案内する。また、予防接種禁忌証明書では入国が認められない国もあることを説明する。

当院での作成を要望する場合には、禁忌事項に該当することを示す診断書等を主治医から発行して持参してもらい、確認の上で作成する。費用は証明書発行料(3,000 円＋税)である。予防接種禁忌証明書はコピーを取り、紙カルテに貼付する。

７．予防接種副反応報告

通常と異なる重篤な副反応が発生した場合、予防接種法に基づく報告（副反応疑い報告）を PMDA（（独）医薬品医療機器総合機構）に行う。

報告様式と報告先は厚生労働省の「予防接種法に基づく医師等の報告のお願い」ウェブサイトから行う。様式を別紙 6 に示す。

https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou20/hukuhannou_houkoku/index.html

送信先： FAX: 0120-176-146 または上記ウェブサイトから送信

8. 黄熱予防接種実施報告

黄熱予防接種実施及び副反応報告書（別紙 7）を用いて、3 か月に 1 回、名古屋検疫所へ報告を行う。

送付先： 名古屋検疫所中部空港検疫所支所検疫衛生課
nagoyakenekisho-chuubukenekei@mhlw.go.jp

9. 公印の管理

公印管理は、名鉄病院予防接種センター 接種証明印取扱要領（別紙 8）に従う。

